

社会構造論2005

- 1 現代の市民社会論
- 2 市民社会論の系譜

‡:このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。

市民社会論ルネッサンス

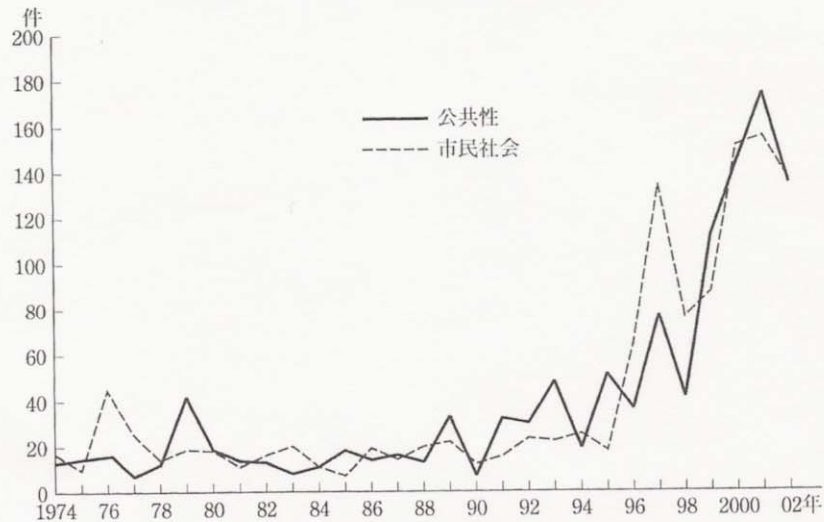
- Civil society 18C Adam Ferguson
- ギリシアの都市国家

- 1990s グローバリゼーションへの対抗軸
- 1.ファンダメンタリズム、リージョナリズム
- 2.市民社会論、NPO論
- 3.開発独裁体制から民主主義へ アジア諸
国

山口定『市民社会論』p.2

序章 「新しい市民社会」論の台頭

図1 「公共性」「市民社会」件数：年度別



注：NACSIS-IR による学術雑誌論文数の推移（タイトルならびに書誌事項中に「公共性」と「市民社会」をキーワードとして含む論文の点数）。

出所：山口定ほか編『新しい公共性』有斐閣，2003年，2頁の図を更新して掲載。

P.3

市民社会と公共性

- なぜ、この2つの課題が問題になったか？
- 1. 資本主義のグローバル化(市場主義)
- →自由、平等、公正は市場で実現される？
- 2. 自由:誰もが市場に参入できる？
- 平等:南北格差は縮まったか？
- 公正:個人、国家の尊厳は保たれる？
- 3. 市場経済は社会を超える →社会を維持するために公共的価値観・制度・組織

公共性と社会学史

- 社会学が成立したのは産業社会の確立期である。
- イギリス：農村工業の勃興、産業化、国家間通商：古典派経済学
- フランス：フランス革命前後に隆盛した啓蒙思想（人間の進歩：理性、社会の進歩：産業化）の影響
- 当時の知識人：産業化社会の行方：民主的な社会
- (Saint-Simon, Claude Henri de Rouvroy 1760-1825) 産業主義（産業化の担い手としての産業人「造語、ブルジョアジーから欲得を抜いたような存在」）

- (Comte, Isidore Auguste 1798-1857) :
- 実証哲学講義：社会に貫かれた自然法を明らかにする社会静学、歴史における社会の進歩を明らかにする社会動学からなる社会学 (sociologie)
- 人間の精神は、神学的段階から、形而上学的段階、実証主義(現実的・有用的・確定的・明確的・積極的・相対的などの性質を持つ。科学的と同義であり、観察によって現実を記述、説明する)の段階へ移行する。

公共性をめぐる2つの思潮

- 1 公共的空間(自律的市民の対話、公衆としての世論形成:政治秩序 ポリス、ブルジョワジー)は自ずと形成される 市場経済
- 2 公共的価値(人間の価値・平等の実現)を体制により実現 社会主義
- 3 社会政策による公共性の確保(人権思想、法の支配、社会保障制度) →危機的状况!

市民社会はどこにあるか？

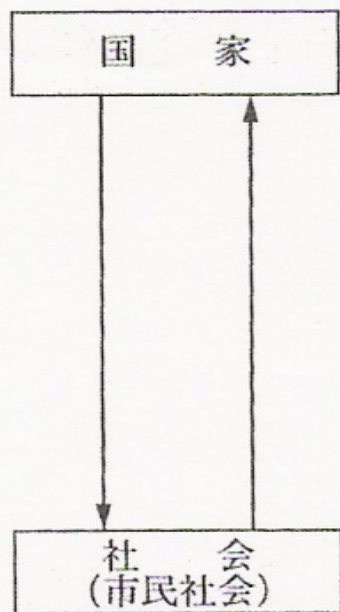
- 個人が公共的価値を志向するのはどの段階からか？ → 家族(愛情、義務の起源) 私的か公的か(近代家族と家産共同体) → 社会参加の最小単位
- 産業革命後 労働者(世帯から独立して生活可能)と資本家(事業可能)による社会 → 市民社会の出現
- 現代 国家(所属の最大制度)を支える社会が市民社会

山口定『市民社会論』p.153

第5章 「新しい市民社会」論の特徴と類型

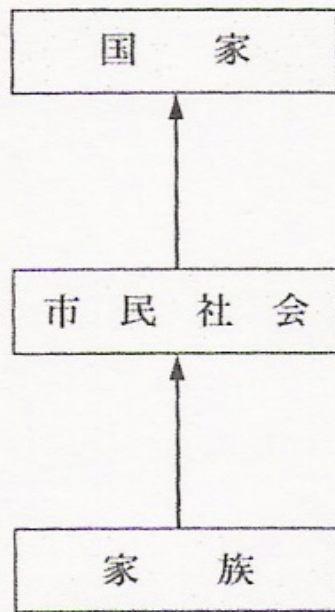
図4 国家と市民社会：二元論と三元論

政治学における
国家・社会の二元論



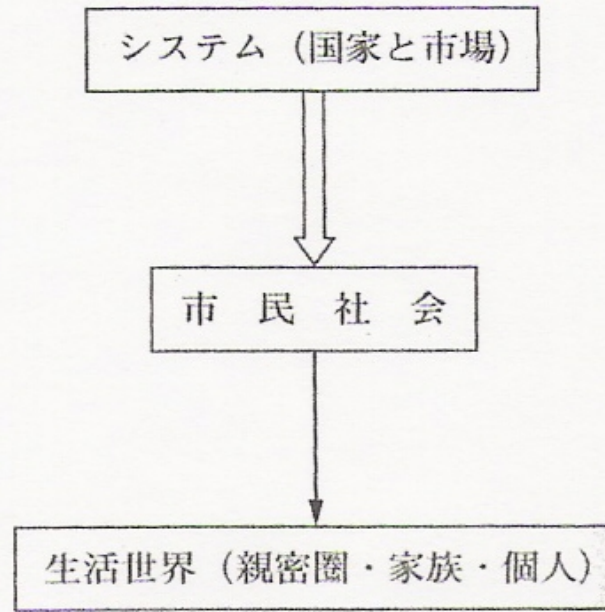
出所：著者作成。

ヘーゲルの三元論



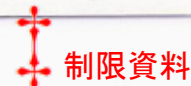
(矢印は「人倫の共同体」化の論理)

ハーバーマスの三元論



(矢印は「植民地化」の論理)

P.153

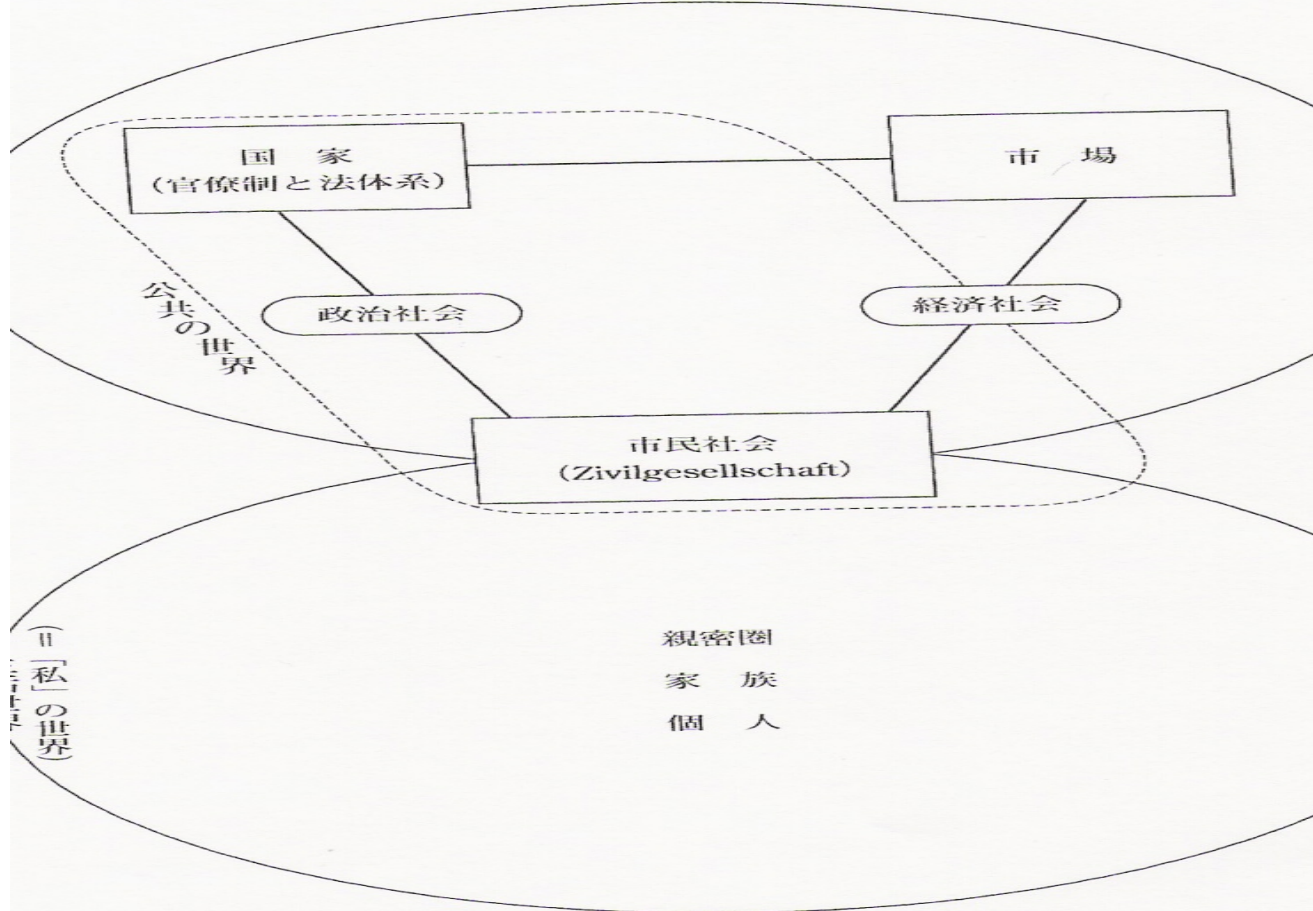


制限資料

山口定『市民社会論』p.156

第2部 「新しい市民社会」論の特徴と研究助

図5 コーエンらの想定する5項モデルをふまえた全体構造図



注：点線内は「公共」の世界。「国家」が権威主義的であれば、「国家」は「公共」の世界からはみ出して単独で「公」の世界を形成すると考えたい。

出所：著者作成。

公共空間の位置

- 山口：政治社会（国家と市民社会の媒介）
- 経済社会（市場と市民社会の媒介）
- 公共空間（国家、政治社会、市民社会、経済社会の一部）
- 生活世界（親密圏、家族、個人）

- 但し、ハーバーマス 生活世界のシステム化
- 親密圏、家族、個人にシステムが浸透する？ 具体的にはどういうこと？

市民社会の拡大？

- レスター・サラモン global associational revolution → 地球市民社会
- 事例：NGO/NPOの拡大
- 機能1 サービス提供：国家に代替
- 2 民主化の推進

- 市民社会は国家を超えるのか、国家に制限されるのか？